

国語 十五—一	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく
取り組んだ日
月 日

つぎの文ぶんししょうを「です」「ます」「でした」「ま
した」でおわる文ぶんししょうにかきなおしましょう。
かきなおしたいところところに——をひき、そのよこ
にかきなおしたことばをかきましょう。

つりました。

【れい】 さかな 魚をわった。

いました。

あるところに、おじいさんとおばあさんがいた。

こまっていたいました。

ふたりはたいそうこまっていた。それというのも

まん月のばんに、いつもおにたちがわるさをしに

くるからです。

くるからだ。

国語 十五―二	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前	年	組	番
------------	---------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

つぎの文ぶんししょうを「です」「ます」「でした」「ま
した」でおわる文ぶんししょうにかきなおしましょう。
かきなおしたいところところに〓〓をひき、そのよこ
にかきなおしたことばをかきましよう。
つりました。

【れい】 魚さかなををわわたた。

きのう、ぼくは、おじいちゃんといっしよにス
行いききままししたた。

カイツリーかいに行いったた。てんぼう台だいにのぼると、
見みええままししたた。

じどう車しゃがおもちやみたいちいに小こさく鬼みええたた。帰かえり
食たべべままししたた。

おいしいあんみつたを食たべべたた。

国語 十五―三	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

取り組んだ日
月 日

ぶんしょう

つぎの文章を「です」「ます」「でした」「まし

ぶんしょう

た」でおわる文章にかきなおしましょう。書き直

か なお

したいところに――をひき、そのよこにかきな

おしたことばをかきましよう。

つりました。

さかな

【れい】魚をわった。

とうきょう

ちかてつ東京メトロにのって、しぶやえきまで

いきました。

いった。しぶやえきには、ちゅうけんハチこうの

ありました。

いぬ

犬のぞうがわった。ハチこうのぞうは、まちあわ

です。

せばしよでゆうめいだ。

国語 十五―四	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

とく
取り組んだ日
月 日

ぶんしょう

つぎの文章を「です」「ます」「でした」「まし

ぶんしょう

た」でおわる文章にかきなおしましょう。書き直

か
なお

したいところに――をひき、そのよこにかきな

おしたことばをかきましょう。

つりました。

【れい】魚をわった。

さかな

にち

び

うえ

み

日よう日に、上のどうぶつえんにパンダを見に

いきました。

うえ

いった。上のえきでんしやをおりて、どうぶつ

あるきました。

えんまであっていた。どうぶつえんは、たくさん

こんでいました。

ひと

人でまんでいた。

国語 十五―五	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日
月 日

ぶんしょう

つぎの文章を「です」「ます」「でした」「まし

ぶんしょう

た」でおわる文章にかきなおしましょう。書き直

か
なお

したいところに――をひき、そのよこにかきな
おしたことばをかきましょう。

つりました。

【れい】魚をわった。

さかな

おきました。

きよう

あさ

しちじ

ぼくは、今日の朝、七時におきた。「おはよう」

しました。

とおかあさんにあいさつをした。すると、おかあ

み

さんは、ぼくを見て「おはよう」とあいさつをし

してくれました。

てくれた。